

「処理」から「資源化」でゴミはどうなる?



資源ごみ処理施設の相原エリア建設予定地

町田リサイクルセンターのごみ焼却場がつくれられて30年。施設の老朽化がすすんだことから、循環型社会の実現を目指した新しい「ごみの資源化施設」の整備基本計画(案)が先ごろ発表されました。これまで小山田地域に一極集中していた施設のうち、焼却施設と生ごみ資源化施設(バイオガス化施設)、不燃・粗大ごみ処理施設は一体整備で建て替え、そのほかの資源ごみ処理施設(容器包装プラスチック圧縮梱包施設、ビン・カン選別処理施設、ペットボトル圧縮梱包施設)は①相原エリア②上小山田西部エリア③リレーセンターのみなみの3箇所に分散整備する計画です。いま、建設予定地の周辺住民に対し説明会が行われていますが、上小山田西部エリアは北部丘陵のまちづくりやリニア計画に配慮し、場所は未決定とされています。

日本共産党は、騒音・臭気対策、バイオガス化施設の安全性など、住民の不安や疑問の声に答えるためにも説明会の対象を拡大し、市独自の実証実験などもおこないながら丁寧に住民合意を積み重ねていくべきと考えています。



市民のスポーツ権を保障するスポーツ推進条例に

3月定例議会で提案された町田市のスポーツ推進条例は、スポーツを「生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的かつ自律的に行えるよう推進」することを定めた国のスポーツ基本法の理念とは、似て非なるものです。「だれもがいつでもどこでも公正にスポーツを楽しむことができる」市民のスポーツ施設拡充は、市民スポーツの拠点として無料だったスポーツ広場や学校施設を有料化し、予約システム利用を求めることによって場所を確保するというものです。地域の身近なスポーツ拠点の学校地域開放がなくなりてしまい、スポーツする楽しみが奪われる市民も生まれません。

スポーツと自然が調和する野津田公園へ

日本共産党市議団は、5月初旬、野津田公園を担当者の案内で視察しました。野津田公園には、陸上競技場(サッカースタジアム兼用)はじめ、軟式野球場、テニスコート、多目的グラウンドなど多様なスポーツ施設があり、その周囲には多摩丘陵の里山の自然を残したブナやコナラの雑木林、ススキ草地、湿性池などが保全されています。

ゼルビアのホームグランド化によって、陸上競技場にはJリーグ基準を満たすためのメインスタンドや実況放送室、来賓室などが31億円かけて整備されました。また、公園南入口近くの「上の原はらっぱ」に暫定駐車場計画が持ち上がったときには、市民から工事中止を求める請願が市議会にだされました(継続審査)。

現在、町田市は、野津田公園の今後の在り方を検討するための懇談会(市民委員は2名)を設置し意見を聞きながら、来年3月までに第2次野津田公園整備基本計画を策定する方向で、環境調査もコンサルタントに委託しています。

無料法律相談のお知らせ

6月12日(水) 市民フォーラム活動室

6月26日(水) 市役所3階 日本共産党会派室

7月10日(水) 同上

いずれも14時から。予約が必要です。

723-6312または以下の市議にご連絡ください。



とのむら健一
TEL(793)5458



細野りゅう子
TEL(796)8163



佐々木とも子
TEL(793)4137



佐藤よう子
TEL(797)5948



池川友一
TEL(734)1116

日本共産党市政アンケート1500通超え

国保税・介護保険料 「引き下げて」の声73%

日本共産党市議団が3月からとりくんでいる「まちだのくらしと市政アンケート」。5月中旬までに1500人を超す方から回答が寄せられています。

「生活が苦しくなった」と答えた方が5割、「国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険について」の問い合わせに、73.9%が「負担が重いので引き下げてほしい」と回答しています。また、「特に必要だと思う子育て支援、教育施策は」の問い合わせには回答者の5割が「保育園の増設など待機児解消」と回答しています。

アンケートは6月末までとりくんでいます。ぜひ、ご協力お願いします。最終的な結果は、今後の市議団ニュースでお知らせします。